

第3回 人口減少対策検討懇談会の結果について

1 開催日時

平成27年8月27日（木） 午後3時00分～午後5時00分

2 議事

- (1) 第2回人口減少対策検討懇談会の結果について
- (2) 市民アンケートの結果について
- (3) 「宇都宮市人口ビジョン」（素案）について
- (4) 「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（素案）について

3 主な意見

- ・ 人口減少は50万人で維持するという見通しだが、その場合、目指すべき将来の方向で「人口減少時代に適合したまちづくりを実現する。」というより「人口構成の変化に対応…」という表現の方が良いのではないかと。
- ・ 総合戦略の施策相互の関連性、優先順位などのメリハリを見せるために、各施策を統合したときにどのような成果がでるかを示すと良いのではないかと。
- ・ 全体のイメージを表現するようなキャッチフレーズがあると良い。
- ・ 総合戦略には、差しあたってこれだけは実施するという発信力があるものを1～2つでも位置づけていく必要がある。
- ・ 総合戦略には、企業だけでなく市民についても総合戦略の主体として取り込んでいった方が良い。
- ・ 有効求人倍率は成果指標としては良いが、正社員と非正規が両方入っていることに留意する必要がある、正社員を増やす努力を行っていくことも必要。
- ・ 企業誘致において、大企業と併せて、関連企業もまとめて誘致できるような支援が必要ではないかと。
- ・ 就職においては、どこに住むかというよりも、どの企業に入るかが先で、そこから住む場所を決めるという順番ではないかと。この優先順位を変えることは難しいが、東京圏から人を呼び込む際には、若い世代に限らず、物価の違いや、子育てのしやすさなど、トータルでは宇都宮の方が暮らしやすいことをアピールしていく必要があるのではないかと。
- ・ 「ネットワーク型コンパクトシティ」で拠点形成を明確にしているが、各拠点の特色をもう少し明確にしてアピールしたほうが良い。
- ・ 企業立地について、域内の波及効果を高めていくためには、県内で仕入れて県外に売るという流れを作り、域外からお金を得て域内に波及させていくことが必要。

※ 次回 第4回懇談会を10月1日（木） 午後1：30より開催